

## 地区別計画推進懇談会（7月29日）について（報告）

7月29日開催の地区別計画推進懇談会について報告します。

日 時 平成28年7月29日（金） 14:00 ～ 16:05

場 所 瀬谷区役所5階 会議室A B

参加者数 73名（地域46名、その他27名）

内 容



1. 「第3期地域福祉保健計画について」 説明 瀬谷区福祉保健センター福祉保健課長 藤澤 智明
2. グループごとに情報交換・意見交換 講師・進行 GENプランニング代表 奥村 玄 氏  
～基本目標Ⅲ「誰もが活動に参加する地域づくり」をテーマに、各地区における取組等について～  
12地区からの参加者を7グループに分けて、「呼びかける仕掛けやきっかけ作り」、「活動に定着するために必要なこと」などをテーマに情報や意見の交換を行った。各グループでは、付箋紙を用いて各自の意見を記録し、模造紙に整理した。
3. 各グループ発表、奥村氏によるまとめ  
グループごとに、出された意見を発表し、奥村氏が模造紙に全体のまとめを行った。

### ○現在直面している悩み

- ・昔と比べ生活が多様化し、趣味等の充実により、地域活動に参加するきっかけが減っている。
- ・担い手や役員の高齢化が進み、若い人は勤めで忙しく、つながらない。
- ・担い手が固定化し、同じ人がいくつもの活動に関わることになる。
- ・活動の拠点が無い。

### ○地域活動へ呼びかける仕掛け・きっかけ

- ・呼びかける機会として、全世帯アンケートなどを行い、地域活動でやりたいことを把握する。
- ・人を呼び寄せる人など、地域活動をやってくれそうな人に声かけする。
- ・呼びかけのきっかけとして、最初はできること、小さいことから頼んでみる。
- ・活動内容を、その人の個性に合わせたり、特技が活かされたりするようアレンジしてみる。
- ・飲み会やお茶会も呼びかけのきっかけになる。
- ・地域活動を楽しんでできるよう、楽しさを演出する。
- ・フラットな組織として、敷居を低くし、笑顔で迎え、参加しやすい雰囲気を作る。
- ・参加して良かった、やりがいのある活動だと感じ、達成感を味わってもらう。
- ・若い人にも参加してもらえるよう、若い人の意見を吸い上げるチャンネルを持つ。
- ・幼児、小、中、高校生が参加することで、親も参加するので、無理のない範囲での参加を促す。
- ・活動の場や情報ターミナルの場となる窓口を用意する。

## ○活動に定着するために行うと良いこと

- ・「地域活動やって損はしません!」と思える、参加を促す工夫をする。
- ・毎月顔を出してもらうなど、継続性を高める。
- ・家族ぐるみで勧誘し、後継者を見つける。家族を思いやる気持ちを大切にする。
- ・感謝の言葉をかけ、良い評判を伝える。
- ・高齢化を課題とせず、高齢であってもできる人、やりたい人が続ける。
- ・会長だけに役割を集中させない、多くの方々が参加する仕組みに変える。
- ・慣れてきたら一つの分野を任せ、一人一人の負担を分散させる。
- ・役員など組織の運営に少しずつ段階的に関わってもらう。
- ・長く続けてくれるリーダーもいるが、交代することで様々な人がリーダーになる組織もある。
- ・リーダーの人徳・人得・人脈に期待する。

[当日アンケート結果 (回答数37名 / 参加者46名)]

(1) 懇談会の内容は、今後の地区別計画推進に役立てることができますか？

とても役立てることができる(25)      少し役立てることができる(12)

(2) 地区別計画を進めるにあたって、事務局（区役所・区社協・地域ケアプラザ）への要望等（抜粋）

- 人材発掘、役員を引き受けて貰えた成功事例を集めてほしい。      ●とても協力的でよく動いている。
- ケアプラザがどんな事を支援しているのか、もっと知る為に相談していきたいと思う。

(3) 本日の懇談会の感想、今後の懇談会についての希望、現在の活動で感じていること等（抜粋）

- とても有意義だった。今後も推進懇談会を開催した方が良い。      ●意見が多く出されとてもよかった。
- 仕事を持つ若い人に参加してもらうため、できれば土・日曜日、夜の開催を検討してほしい。
- 楽しくグループワークができてよかった。他地区の方と交流できて、様々な意見を聞く事ができた。
- 自分の地区でも活動をいろいろしているが、懇談会に参加すると他地区の情報を聞いて、ヒントがもたらえた。
- 各班の発表を最後にまとめた話がわかりやすく、また共感できる説明でとてもよかった。
- 奥村氏のまとめも特によかった。今日の話を頭に入れ地域活動を頑張ります。
- 他地区の取組で活用したいことが多くありました。ぜひ取り入れ充実したものにしていきます。
- どの地区でも同じような問題をかかえているのだと思いました。年齢や性別により参加できる時間や曜日などを把握して活動していけたらよいなと思いました。
- 参考になる内容は多々あったが、いざ地区に戻り活用しようとするとき、どう取り組んだらよいか・・・。
- 高齢者の支援等、支援をどう考えるかも大切ですが、高齢者一人一人がどうして欲しいかまちまちで大変困っている。又、何をして欲しいかなかなか教えてもらえないので困っている。
- サークル活動の活性化、新たなサークルの誕生を推進していきたい。
- 拠点を作り常に誰かいて地元の方々とコンタクトを取れる様にしたい（現在はケアプラザにお願いしている）。企業とコラボしてボランティアではできない様な事もやっていきたい(金銭的な面も含め)。
- 活動の場づくり。楽しんでやる。その気にさせる、主人公にさせる。いろいろ勉強になりました。

以上